

西内野コミュニティだより 6号

発行/西内野コミュニティ協議会 編集委員 2010.3



この一年の思い出

(ご協力いただきました皆様、ありがとうございました)



盆おどり大会 7月25日(土)



西区一斉クリーンデー
8月1日(土)



自主防災訓練 11月1日(日)



もちつき大会 12月6日(日)



夜間防犯パトロール 9月~11月

西内野わい愛クッキング



第1回 笹だんご作り 6月20日(土)

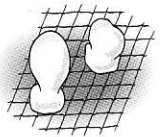


第2回 夏バテ知らず
野菜たっぷり朝ごはん
8月29日(土)



第3回 メタボ予防 11月10日(火)

もちつき大会



今年も大盛況でした

昨年引き続き、もちつき大会が西内野小学校の体育館で盛大に行われました。

今年も、天候にも恵まれ、西内野小学校の児童や西幼稚園の園児をはじめ、約250人が参加しました。

今年も、上新町の方からお借りしたうすやきねは、200年以上も使い続けている伝統のあるものです。用意したもち米は、なんと1俵!!(60kg) また、民生委員さんも2日ばかりで全員分の雑煮を用意してくれました。当日は、地域のベテランの方からもちつきをご指南いただき、子どもたちも体験できました。また、つきたてのおもちを手際よくあんこやきなこにしてくださいました。保護者や地域のボランティアさんの皆さん。西内野小学校の園長先生



初めて参加させて頂きました。
経験のあるお手伝いの方々と一緒に楽しくお仕事が出来ました。
娘もすごく喜んでいたのでまた参加したいと思いました。
お手伝いボランティア
永井 明子さん

もちもちでよくのびておいしかったです。
きなこがおいしかったよ。
みんながもちつきをしているのがおもしろかった。
こんどやってみたいです。
にしょうちえん
やまもと そうたくん

や幼稚園の白井園長先生をはじめ教職員の方々もお手伝いに駆けつけてくれました。
この行事を通じて、西内野の地域の交流が、より深まったように感じています。
(もちつき大会は西区社会福祉協議会の地域歳末たすけあい事業助成金により実施しました)

新潟風のお雑煮づくり

民生児童委員 折中 隆子

餅つき大会に参加してくださった人達から、美味しかった!!と言っていたいただき、やはり昔から、日本人にとつては餅は勿論、春のお彼岸のぼた餅、秋のお彼岸のおはぎ、おこわ等と最高のご馳走だったのですね。

昔の一般的な新潟のお正月は、商人町の名残か、年夜(としや)といって十二月三十一日の大晦日に刺し身や焼き鮭などのご馳走を食べ、お節料理としては、のっぺい、や、ハリハ

り漬け、などが保存食として有っただけなのです。だから、正月三が日の雑煮は、大根、人参、牛蒡、コンニャク、椎茸、葱などの野菜が沢山と普段食べられない蒲鉾、鮭、鶏肉、イクラ等を入れ、醤油で味付けされ、又餡餅(あんこもち)と一緒に食前に並べられたご馳走だったのですね。

いきいき西区ささえあいプラン

「だれもが住み慣れた地域の中で、安心して自立した生活が送れるように地域全体が協働し、支えあいながらすすめるまちづくり」を基本理念にして新しい福祉のまちづくりを行うのが「いきいき西区ささえあいプラン」。同推進委員会は昨年末に発足したばかりでまだまだ手探り状態であります。

西内野コミ協としては、明るく、笑顔の絶えない地域になるよう高齢者向けの料理教室、中高年向けの健康体操教室、若い人向けにはエアロビクス・ダンス教室等を考えています。地域の皆さん、ご参加よろしくお願ひ申し上げます。

いきいき西区ささえあいプラン推進委員

萩野 肇

市の22年度予算編成への要望事項とその回答

平成21年10月、西区区長及び各担当者に面接陳情し、市から回答がありました。西内野地区分についてお知らせします。

要望事項	市の回答
曾和・上新町線の早期完成 ①新中浜2丁目から国道402号までの区間(市道部分)の道路建設推進 ②国道116号から県道新潟・寺泊線までの区間の道路建設	①について、地域の方のご理解で今年ようやく測量に入った。今までなかなかそこまでは入れなかったわけで感謝する。沿線には地権者の方が30人ほどおり、また支障物件もあるので、測量調査に基づき、今後は補償の話をしていく必要がある。これについても、地権者の方だけでなく皆様方からも引き続き協力願いたい。 ②について順番としては①が先。①が整備されれば車の流れも変わってくると思う。状況をみながら考えていきたい。
県道新潟寺泊線の道路拡幅	拡幅するとなると都市計画決定をしてということになるが、JR越後線とは立体交差としなければならない、大規模な工事となり金と時間がかかり今のところ手をつけられない。曾和・上新町線や402号バイパスが完成すれば車の流れも変わってくると思っている。
西内野地区に連絡所の設置	戸籍関係の届け出は一生のうち何回もないわけですから、おそらく要望の趣旨というのは、役所との接点としての連絡所が欲しいということだと思う。そういうことからすると、まちづくりセンターというものを各区にという構想があるので、その中で整理をしていきたい。
運動公園の新設	ウェルサンピアは市の施設ではないが、これまでも運動公園的な機能もあつたし、今後は赤塚に公園を整備していくことから、西コミセン周辺新設する場所もないし厳しいかなと思う。要望は受け止めるが優先度は低いと思う。

その他 県への地域整備部への要望

パレットタウン内にある、広通川の両岸管理用道路は、急速に住宅が増え、地域住民の散策道路としての利用者が多くなっている。両岸管理用道路の舗装を引き続きお願いしたい。

西内野地区自治連の発展的解消

西内野地区自治連絡協議会は、10自治(町内)会会長、副会長で構成し、地域の伸展に活動してきました。来年度からは西内野コミュニティ協議会に統合し、福祉・健康・生活・環境等の面で、より一層地域密着形の活動を進めていくこととしました。

コミ協内に自治会部会(仮)を設けます。各自治会(町内)活動、運営等は今まで通りです。

自治会(町内)の皆さま今後もよろしくご協力お願いします。



ホットな話

絆深まった大雪 心温っか!

暮れからの二回のドカ雪には本当にびっくりしました。電車もバスも大混乱。そんな折、近くの会場での会議を済ませいつもの友愛訪問に出かけました。バス通りの歩道はでこぼこ、お年寄りには大変だなと思いつつ平和台団地に入りましたら、きれいに除雪され歩きやすくホットといたしました。

この大雪にどうしておられることかと気になるお宅を廻ったのですが、どの家も綺麗に除雪されていたので二度びっくりです。声をかけると、お隣りの方が知らぬ間に除雪をしてくださったとか。子どもさんが心配して来てくれたとか。元気な方はご自身でと。皆さんとても元気で、感謝と明るい笑顔が返ってきて、またまたびっくりしました。

大変な大雪でしたが、親子、ご近所の助け合っている姿に、心はほんわか、まっ白な雪の中の明かりがひととき美しく感じられました。

佐藤 正子



自治会紹介

上原団地自治会

心繋がる一八〇余戸。坂道も繋がりがあっています。

五十嵐西、五十嵐中島の一面に位置し、坂を上れば山、稲田、街を眺め、穏やかな心にもなります。静けさの中、散歩やジョギングする姿も見られます。

「自分たちの団地・自治会」を基本に集う人の心を集め、計画実行されてきたことが形となり受け繋がれています。団地祭もその一つです。「祭が欲しい」この思いを実現し二十六年続いています。自治会館を拠点に子どもたちの笑顔、歓声。お楽しみ大会と賑わいます。

子どもたちの体験を豊にし、親と子、子ども同士、親同士の繋がりを深め、豊かさを創り出した「おやじの会」がかつてありました。各々がもつ知恵・技を出し合い、大勢の人が楽しみ、喜び合いました。この心根は今も自治会の活動に生きています。祭、地引網引き、新年会、餅つき大会と繋がっています。

声掛けあい、笑顔も繋ぎ、自立し惑いも少なくなりつつ進み、四十年近くになる上原団地自治会です。

(自治会長 斎藤昭夫)



事務局からのお知らせ

22年度事業について

多くの皆様とともに、地域の活性化と友和を目指し、各部では、次の事業を計画しております。ぜひ参加をしていただき、地域の力を盛りあげましょう。

- 盆おどり大会 7月
 - 夜間防犯パトロール 9月
 - 防火、防災訓練 10月
 - 親子もちつき大会 12月
 - コミ協だよりの発行 年2回
 - わい愛クッキング 随時
 - 健康体操・親子ハイキング などを予定しています。
- 以上、計画ですが、皆さんの企画要望がありましたら、実施に向け対応していきたいと思っております。是非御意見をお寄せください。

こぼとの会

「こぼとの会」に参加しよう

「こぼとの会」は気軽に参加できる親子の居場所です。今回は、遊びに来て下さったお母さん達の声を集めてみました。

- 広い和室で思い切り遊ばせられるし、ころんでも安心。
- 来たい時だけ来れて良い。
- 楽しいおもちゃがたくさん。
- 生まれてすぐでも参加できる。
- いろいろな人と交流できる。
- 行事が楽しい。
- こどももとても楽しみにしている。
- 月四回になって良かった。

「こぼとの会」は新潟市からの委託料と社会福祉協議会の補助金で運営されている安心安全な遊び場です。一度遊びにいらしてください。



「いばの会」について

日時 毎週木曜午前十時から十一時半
 (第五週と祭日は休み)
 場所 西コミュニティセンター和室
 対象 未就園のお子さんと保護者
 連絡先 大滝 二六二一〇二二五
 浦澤 二六一一〇三八七

編集後記

除雪の不備が指摘された今回の大雪。その中で、あたたかな助け合いのニュースも数多く聞かれました。地域の絆、あたたかな地域をつくる意味でも、ほんの少しの心配り、心配りが大切である事を教えてくれた二六年ぶりの大雪だったのではないのでしょうか。

(編集委員長 神立)

